

「災害時も安心 観光客にやさしい 国際観光都市・京都」に向けて



嵯峨・嵐山地域

帰宅困難観光客避難誘導計画

はじめに

— 地域の特徴と課題 —

観光客の支援に当たって、嵯峨・嵐山地域では、次の点に配慮が必要です。

- 行楽シーズンのピーク時、観光客と車で地域内は大混雑します。
- 地域内では特に、渡月橋から長辻通にかけた主要道路に観光客が集中します。
- 地域内には、3つの鉄道駅が立地しています。
- 市内最大のターミナル駅である京都駅からは遠く、発災直後の京都駅への影響は少ないものの、広域情報の把握に配慮が必要です。
- 桂川の両岸を結ぶのは渡月橋しかありません。



行楽シーズンの嵐山・長辻通

— 観光地における大規模災害時対応の基本的考え方 —

- 1 地域中心で初期対応
- 2 一斉帰宅を抑制し、二次災害を生まない
- 3 正確な情報を伝える
- 4 発災後の行動を時系列で定め、平時から備えておく
- 5 「おもてなし」と「自助・共助」の精神で行動

目 次

1	観光客への対応と支援の流れ	1
1	観光客の発生とその考え方	1
2	支援の流れと役割分担	2
2	観光客緊急避難広場と避難誘導	4
3	Stepごとの対応方法と役割分担	10
1	Step 1の流れ（一斉帰宅抑制）	10
2	Step 2の流れ（観光客緊急避難広場のお知らせ）	11
3	Step 3の流れ（支援内容ごとの案内／観光客一時滞在施設のお知らせ）	12
4	Step 4の流れ（観光客一時滞在施設での支援）	14
5	Step 5の流れ（帰宅支援）	15
	資料編（参考資料集、様式集、Q&A）	16

1 観光客への対応と支援の流れ

1 観光客の発生とその考え方

ピーク時の観光客は、約26,000人と想定され、発災時は、観光客の安全を確保し、一斉帰宅を抑制するため、観光客緊急避難広場・観光客一時滞在施設を用意し、支援します。

それぞれの支援対象人数は、次のように推計されます。

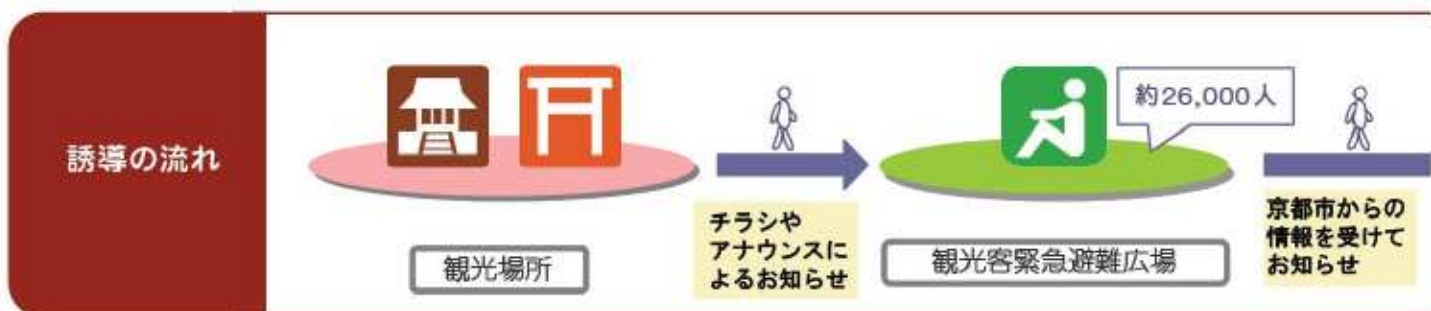


*災害時に自力での避難等が困難で、配慮や支援が必要な、高齢者、障がいのある人、乳幼児、児童、妊産婦、外国人など

発生量の推計

- *現地で最も観光客の多い時期・時間帯に観光客の通行量調査を実施（調査で全体数とともに「高齢者等徒歩困難者」及び「子ども連れ」の数を調査）
 - *平成24年11月24日（土）11時から14時調査
 - *調査結果をもとに既往調査等のデータを活用して算出（※既往調査：入浴観光客数／花灯路来場者アンケート調査など）
 - 要配慮者：調査による「高齢者等徒歩困難者」と「子ども連れ」を対象として算出（個人客）
 - 一般の遠方客：要配慮者該当者以外の市外客を対象として算出（個人客）
 - 一般の近郊客：要配慮者該当者以外の市内客を対象として算出（個人客）
 - 団体客：修学旅行生以外の団体客
 - 修学旅行生：市内宿泊の修学旅行生
- ※「個人客」と「団体客」の割合は既往調査「入浴観光客数」による
※「市外客」と「市内客」の割合は既往調査「花灯路来場者アンケート調査」による

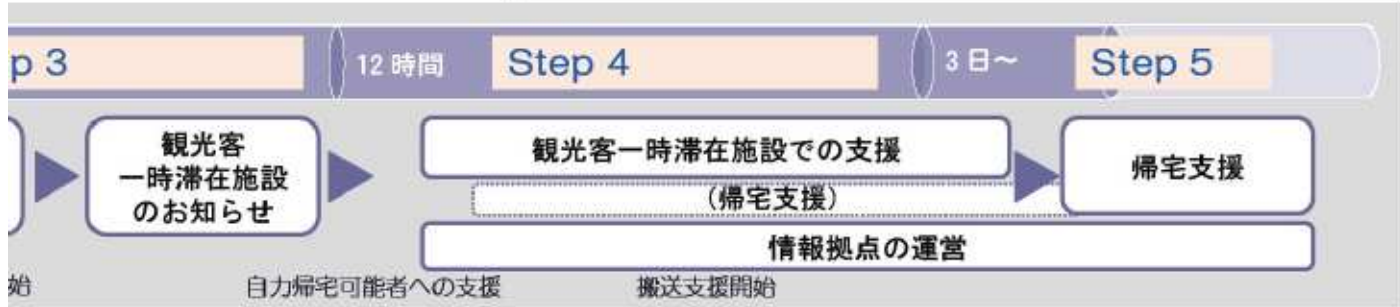
2 支援の流れと役割分担



※京都市からの開設依頼がない場合でも、緊急に対応が必要な場合もあり



観光客緊急避難広場／発災直後、安全を確保する場所。（情報提供など）
観光客一時滞在施設／休憩や宿泊が可能な場所。



Step 3	Step 4	Step 5
 どからの情報を掲示板などでおるとともに、京都市から開設状況、観光客一時滞在施設の開設内します。 この開設依頼を受けて、施設のを行い、受入可能であれば京都、看板を掲出のうえ受入準備観光客を受け入れます。	 支援 受け入れた観光客に次のような支援を行います。 ○トイレや食料・毛布等の提供 ○公共交通機関の復旧状況等の案内 *不測の事態が起こった場合、京都市へ連絡 掲示 京都市から提供される広域状況や公共交通機関等の状況をまとめて掲示します。 *地域からの情報などを京都市へ連絡	支援 観光客が安全に帰宅できるように、帰宅経路の状況などの情報を案内します。 *滞在が必要な観光客の状況を京都市へ連絡し、対応について案内

ります。↑

（広域状況、公共交通機関の状況等） 搬送支援、広域連携

2 観光客緊急避難広場と避難誘導



〈凡例〉

-  対象エリア
-  観光客緊急避難広場
-  観光客一時滞在施設
-  情報拠点
-  案内・誘導（観光客緊急避難広場）
-  避難所
-  元学区境界
-  商店街
-  観光客緊急避難広場 圏域境界線
-  避難誘導標識設置箇所
-  旅館、ホテル名 8p参照

0 100 200 300 400 500m



1 至 北野白梅町

至 京都

至 四条大宮

105

丸太町通

JR山陰本線

車折神社駅

車折神社

有栖川駅

三条通



レストラン嵐山



京都市嵐山観光駐車場

嵐山小学校

京都嵯峨芸術大学

嵐山東小学校

阪急電鉄嵐山線 至 桂



観光客緊急避難広場一覧 面積計 約52,000㎡

名称	所在地
清凉寺	右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46
二尊院	右京区嵯峨二尊院門前長神町27
常寂光寺	右京区嵯峨小倉山小倉町3
トロッコ嵯峨駅舎・駅前広場	右京区嵯峨天龍寺車道町
天龍寺	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町68
時雨殿	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
レストラン嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町33
京都市嵐山観光駐車場	右京区嵯峨天龍寺造路町31-1
嵐山公園中之島地区	右京区嵯峨および西京区嵐山

観光客緊急避難広場と避難誘導 詳細図

中之島周辺



中之島周辺

案内・誘導

- ・嵐山保勝会
- ・嵐山中之島会
- ・嵐山西の会

観光客緊急避難広場

嵐山公園中之島地区

観光客一時滞在施設

- ・上記観光客緊急避難広場へ京都市より情報提供

天龍寺・時雨殿周辺



天龍寺・時雨殿周辺

案内・誘導

- ・嵐山保勝会
- ・嵐山商店街
- ・嵐山十軒会

観光客緊急避難広場

天龍寺
時雨殿

観光客一時滞在施設

- ・上記観光客緊急避難広場へ京都市より情報提供

<凡例>



観光客緊急避難広場



観光客一時滞在施設



情報拠点



案内・誘導（観光客緊急避難広場）



案内・誘導（観光客緊急避難広場/圏域外）



元学区境界

JR嵯峨嵐山駅前周辺



JR嵯峨嵐山駅前周辺



嵐電嵐山駅前周辺



嵐電嵐山駅前周辺



商店街

避難誘導標識設置箇所

避難誘導注意地点
(適宜、誘導員が立ち誘導する)

観光客緊急避難広場 圏域境界線

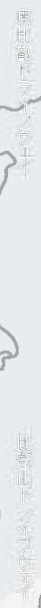
① 旅館、ホテル名 8p参照

観光客一時滞在施設一覧と位置図

番号	行政区	施設名称
1	北区	四季育む宿 然林房
2	上京区	京の宿 梨の木
3	上京区	京都シティホテル
4	上京区	宿屋 西陣荘
5	上京区	御所西 京都平安ホテル
6	上京区	ザ・パレスサイドホテル
7	左京区	京料理とお庭の宿 八千代
8	左京区	旅館 さわや本店
9	左京区	吉田山荘
10	左京区	ペンション 北白川
11	左京区	八瀬かまぼろ温泉 ふるさと
12	左京区	大原温泉 湯元 東の民宿 大原の里
13	左京区	グランドプリンスホテル京都
14	左京区	アピカルイン京都
15	左京区	京都トラベラーズ・イン
16	中京区	お宿 いしちょう
17	中京区	石長松菊園
18	中京区	ホテル 本能寺
19	中京区	NISHIYAMA RYOKAN
20	中京区	京乃宿 加ぎ平
21	中京区	三木半旅館
22	中京区	鹿屋旅館
23	中京区	依屋旅館
24	中京区	悠家旅館
25	中京区	TOMMY RICH INN KYOTO
26	中京区	日昇別荘
27	中京区	旅館 錦水館
28	中京区	要庵 西富家
29	中京区	金波楼
30	中京区	錦善旅館
31	中京区	京の宿 石原
32	中京区	旅館 こうろ
33	中京区	松井本館
34	中京区	松井別館 花かんざし
35	中京区	旅庵 花月
36	中京区	ホテル アルファ京都
37	中京区	京都ガーデンホテル
38	中京区	京都国際ホテル
39	中京区	ANAクラウンプラザホテル京都
40	中京区	コーブイン京都
41	中京区	ホテルチェックイン四条烏丸
42	東山区	清水寺
43	東山区	いろは旅館
44	東山区	日昇館 尚心亭
45	東山区	祇をん 新門荘
46	東山区	料理旅館 白梅
47	東山区	ギオン 福住
48	東山区	純和風料理旅館 きの糸
49	東山区	ぎおん 蟻中
50	東山区	花楽
51	東山区	坂の上
52	東山区	旅館 元奈古
53	東山区	ホテル りょうぜん
54	東山区	ホテル 東山閣
55	東山区	晴鶴楼
56	東山区	山茂登旅館
57	東山区	アメニティーホテル

番号	行政区	施設名称
58	東山区	京の宿 祇園佐の
59	東山区	旅館 やまと
60	東山区	ホテルささりんどう
61	東山区	旅館 おくだ
62	東山区	京都 東山荘
63	東山区	京小宿 八坂 ゆとね
64	東山区	ぎおん森庄
65	東山区	和の宿 番風窓
66	東山区	ホテルリバージュ
67	東山区	花京か(京都市職員共済組合保養所きよみず)
68	下京区	東本願寺
69	下京区	京都ハトヤホテル(仮称)
70	下京区	旅館 若みや
71	下京区	日本館
72	下京区	さと茂旅館
73	下京区	松本旅館
74	下京区	京家
75	下京区	ホテル 飯田
76	下京区	ひふみ旅館
77	下京区	とみや旅館
78	下京区	ホテル 佐野家
79	下京区	北海館 お花坊
80	下京区	たき川旅館 本館
81	下京区	松葉家旅館
82	下京区	観光旅館 ホテル近江屋
83	下京区	宿屋 枳殻荘
84	下京区	京都第二タワーホテル
85	下京区	京都タワーホテル アネックス
86	下京区	ホテルカンラ京都
87	下京区	ホテル近鉄京都駅
88	下京区	アランヴェールホテル京都
89	下京区	ホテル サンルート京都
90	下京区	からすま京都ホテル
91	下京区	ホテル日航プリンス京都
92	下京区	ホテル・京都・ベース
93	下京区	京の宿 洛兆
94	下京区	なごみ宿 都和
95	下京区	尾張屋旅館
96	下京区	魚岩旅館
97	下京区	京都東急ホテル
98	下京区	ホテル オークス京都四条
99	南区	エルイン京都
100	南区	新・都ホテル
101	南区	東寺 洛南会館
102	右京区	天龍寺
103	右京区	嵐山辨慶
104	右京区	コミュニティ嵯峨野
105	右京区	嵯峨グレースホテル
106	右京区	もみぢ家 本館
107	右京区	もみぢ家別館
108	右京区	京都嵐山 ご清遊の宿らんざん
109	右京区	臨濟宗妙心寺派 花園会館
110	西京区	嵐山温泉彩四季の宿 花筏
111	西京区	譲月亭
112	西京区	京都 嵐山温泉 花伝抄
113	伏見区	史跡 寺田屋
114	伏見区	嵯峨温泉 月見館

※上記のほかホテル等、順次追加予定



3 Stepごとの対応方法と役割分担

1 Step1の流れ

発災	3～6時間後	～12時間後		3日～
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
一斉帰宅抑制	観光客緊急避難広場のお知らせ	支援内容ごとの案内	観光客一時滞在施設のお知らせ	観光客一時滞在施設での支援 帰宅支援

大規模災害発生

  観光場所(全地域)

地域事業者、寺院・神社等地域全体

● 緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



※緊急地震速報が届かない場合もあります。

緊急地震速報：

地震発生後、大きな揺れが到達する前に警報を発する地震早期警報システムの一つ。日本の気象庁が中心となって提供している予報・警報である。

*鉄道が運行停止になり混乱が生じる場合

例) 東海・東南海・南海地震発生
本市区域で震度5弱以上の地震発生
大規模水害の発生 など

一斉帰宅抑制

緊急速報メール(京都市発信)などにより、地域の全関係者で一斉帰宅抑制(ターミナルへの人の集中回避)



緊急速報メール：

国・地方公共団体が災害・避難情報のメールを、特定エリアにある携帯電話やスマートフォンに対して一斉に送信するもの。

メール内容(例)

『大地震が発生しました。公共交通機関が途絶していますので、慌てず身の安全を確保のうえ、その場に留まってください。』

※緊急速報メールが入らない場合でも、緊急に対応が必要な場合もあります。

2 Step 2の流れ

発災	3～6時間後	～12時間後		3日～
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
一斉帰宅抑制	観光客緊急避難広場のお知らせ	支援内容などの案内	観光客一時滞在施設での支援	帰宅支援

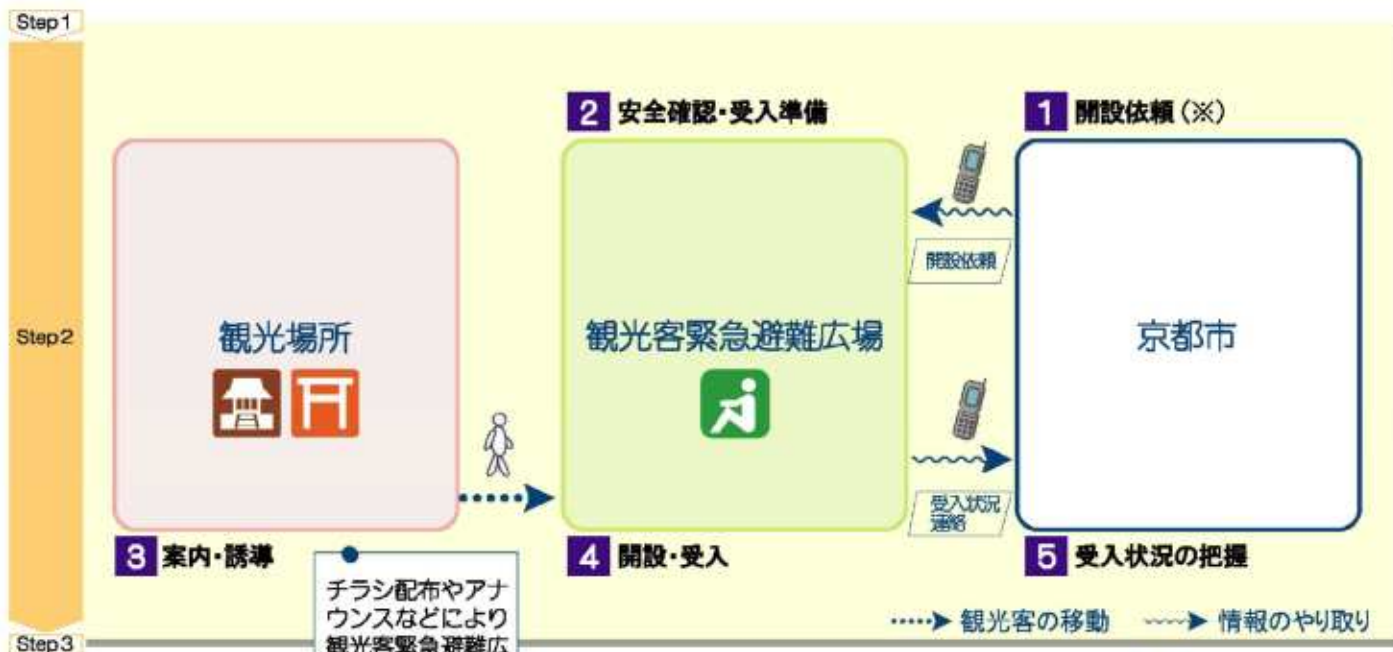
観光客緊急避難広場のお知らせ

安全確保と混乱回避のため、地域の全関係者で、観光客に観光客緊急避難広場をお知らせします。

基本的な流れ

- 1 京都市 から 観光客緊急避難広場 へ開設依頼を行います。（※）
- 2 観光客緊急避難広場 において施設の安全確認後、看板を掲出し受入準備を始めます。
- 3 観光場所 において観光客に 観光客緊急避難広場 をお知らせします。
- 4 観光客緊急避難広場 で観光客を受け入れます。
- 5 受入状況について、観光客緊急避難広場 から京都市 へ連絡し、状況を把握します。

3 は 1 - 2 - 4 - 5 の流れと同時進行で進めます。



チラシ配布やアナウンスなどにより
観光客緊急避難広場
をお知らせ



※案内用のゼッケンやチラシは、多言語もしくはイラスト等により作成

※京都市からの開設依頼 1 が無い場合でも、緊急に対応が必要な場合があります。

3 Step3の流れ

発災	3～6時間後	～12時間後		3日～
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
一斉帰宅抑制	観光客緊急避難広場のお知らせ	支援内容ごとの案内	観光客一時滞在施設のお知らせ	観光客一時滞在施設での支援
				帰宅支援

支援内容ごとの案内／観光客一時滞在施設のお知らせ

各観光客緊急避難広場の施設管理者が中心となって、支援内容ごとの対応を掲示し、待機する観光客に観光客一時滞在施設をお知らせします。

基本的な流れ

- 1 **京都市** から **観光客一時滞在施設** へ開設依頼を行います。
- 2 **観光客一時滞在施設** において施設の安全確認を行います。
- 3 開設状況を **観光客一時滞在施設** から **京都市** へ連絡します。
- 4 **京都市** は、開設状況を把握します。
- 5 開設状況を、**京都市** から **観光客緊急避難広場** へ連絡します。
- 6 **観光客緊急避難広場** では、観光客に **観光客一時滞在施設** をお知らせします。
- 7 **観光客一時滞在施設** では、看板を掲出し、観光客の受入準備を行います。
(6 と同時進行で進めます。)
- 8 **観光客一時滞在施設** で観光客を受け入れます。

図 1. 情報収集方法

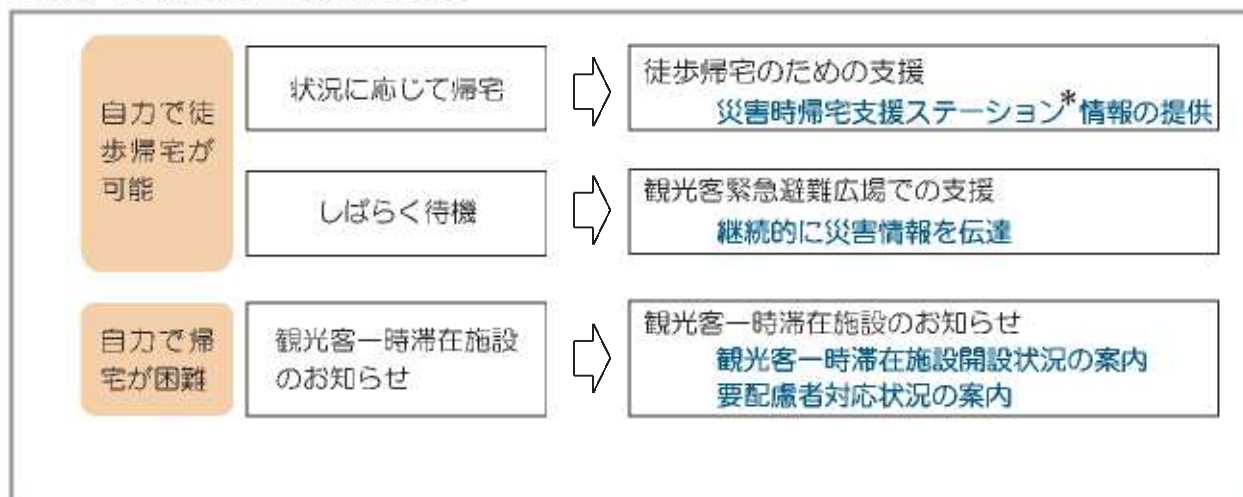
	緊急通報メール	* 防災ポータルサイト	* 災害用伝言ダイヤル	地域からの情報	ラジオ	テレビ	インターネット・メール
地震情報	●	●			●	●	●
公共交通運行状況		●			●	●	●
地域の被災状況				●	●	●	
広域の災害状況・被災状況	●				●	●	●
家族等との連絡方法手段やその利用方法			●				●
観光客一時滞在施設等の開設状況 (要配慮者対応状況)				●			

*防災ポータルサイト／京都市が運営する防災情報サイト

*災害用伝言ダイヤル／災害時、電話を用いて音声による伝言板の役割を果たすシステム



図2. 支援内容ごとの案内



*災害時帰宅支援ステーション/災害時の徒歩帰宅者を支援するために、「水道水」「トイレ」「道路情報などの情報」の提供をしてもらえる店舗等（コンビニエンスストアなど）

4 Step4の流れ

発災	3～6時間後	～12時間後		3日～
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
一斉帰宅抑制	観光客緊急避難広場のお知らせ	支援内容ごとの案内	観光客一時滞在施設のお知らせ	観光客一時滞在施設での支援
				帰宅支援

観光客一時滞在施設での支援

各施設管理者が中心となって、観光客一時滞在施設で受け入れた観光客の支援をします。

Step 3

観光客一時滞在施設

各施設では、公共交通機関が再開するまでの概ね3日間程度、次のような支援を行います。

○名簿の作成

滞在者の名簿（氏名、住所、性別、年齢）を作成

○トイレの提供

位置案内及び利用ルールの掲示により提供

○食料・毛布等の提供

提供に関する案内を行い、備蓄している食料等を提供



○情報収集・案内

情報拠点等を通じて収集した情報を掲示板等で案内



Step 4

情報拠点 [嵐山保勝会事務所]

各施設では、京都市から提供される広域状況や公共交通機関等の状況を集約して掲示します。

○情報の掲示

集約・収集した情報を掲示板等に掲示

通信機器（PHSや災害時優先電話等）が配備された観光客緊急避難広場及び観光客一時滞在施設においても、情報拠点に準ずる情報を京都市から提供

※京都市からの連絡確認ができた施設のみ

京都市

○名簿集約・安否確認対応

○広域の状況や公共交通機関の状況などを把握して
情報拠点へ提供

○情報拠点から地域の状況を把握

○不測の事態等が起こり、
観光客一時滞在施設 *1
から連絡があった場合
への対応

Step 5

情報のやり取り



*1 PHSや災害時優先電話が配備されていない観光客一時滞在施設

*2 PHSや災害時優先電話が配備された観光客緊急避難広場及び観光客一時滞在施設

→ 担当する人の動き ~~~ 情報のやり取り

5 Step5の流れ

発災	3～6時間後	～12時間後		3日～
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
一斉帰宅抑制	観光客緊急避難広場のお知らせ	支援内容ごとの案内	観光客一時滞在施設のお知らせ	観光客一時滞在施設での支援
				帰宅支援

帰宅支援

各施設管理者が中心となって、観光客が安全に帰宅できるように支援します。

基本的な流れ

- 1 京都市 から 観光客一時滞在施設 へ公共交通機関の再開状況にともなう帰宅支援手順等について連絡します。

※観光客一時滞在施設の場所や収容人数による帰宅支援手順に基づき、段階的な帰宅案内を行います。

- 2 観光客一時滞在施設 において観光客へ帰宅に関する情報提供・案内を行います。

※滞在が必要な観光客がいる場合は、京都市へ状況を連絡し対応を案内します。

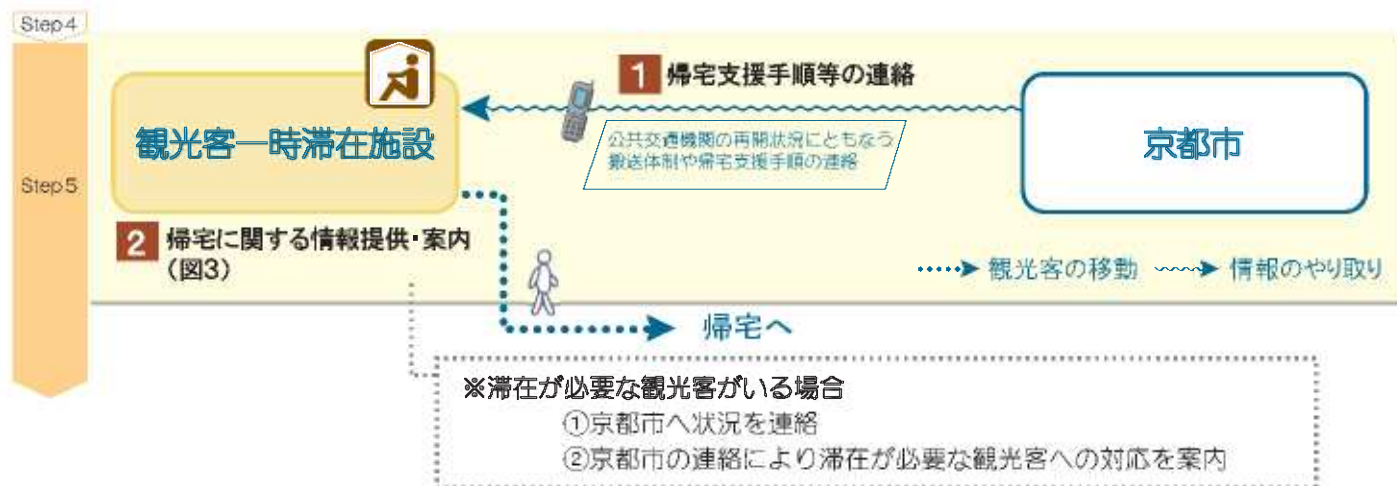


図3. 情報収集方法

	緊急速報メール	防災ポータルサイト	災害用伝言ダイヤル	地域からの情報	ラジオ	テレビ	インターネット・メール
帰宅経路の状況		●			●	●	●
災害時帰宅支援ステーション等の開設・運営状況		●					
公共交通機関・ターミナル駅周辺等の状況		●			●	●	●
搬送体制・帰宅支援手順		●					
滞在が必要な観光客への対応状況		●					

資料編

(参考資料集, 様式集, Q&A)

1 参考資料集

①情報に関して

情報収集方法例

◇京都市が運営する防災情報サイト（地震情報、公共交通運行状況 など）

京都市防災ポータルサイト

（京都市防災危機管理情報館）

<http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/>

※対応言語：日本語



◇インターネットにアクセスできるスポット

KYOTO_WiFi

このステッカーが貼られている
バス停等で利用できます。

※対応言語：日本語・英語



◇災害時、電話を用いて音声による伝言板の役割を果たすシステム

災害用伝言ダイヤル

171

伝言を **録音** する場合 **1** の後

伝言を **再生** する場合 **2** の後

市外局番＋電話番号

※登録できる番号は固定電話の番号のみです。

災害時帰宅支援ステーションとは

◇コンビニエンスストアなど、災害時の徒歩帰宅者を支援するための店舗等



このマークが掲出されている店舗では、
帰宅困難者に支援して頂けます。

支援内容

- ① 水道水・トイレの提供
- ② 道路情報等の情報の提供
- ③ 休憩場所の提供

②観光場所各担当者への役割案内パンフレットイメージ

中之島周辺地区の避難誘導にあたる皆さまへ

観光客緊急避難広場【嵐山公園中之島地区】への案内・誘導

大規模災害
発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に観光客緊急避難広場 嵐山公園中之島地区 への案内・誘導

- ⇒ 誘導係用のゼッケンを着用します。
- ⇒ 案内パンフレットを用意し、配布します。
- ⇒ 特に注意が必要な地点では、適宜通りなどに立って誘導します。

声かけ例 「電車が止まり駅が混雑しています。」
「Station is panic!」

「嵐山公園中之島地区に避難してください。」
「Go to Nakanoshima Park」



案内パンフレットは「
」にあります。

■基本案内ルート図



天龍寺・時雨殿周辺地区の避難誘導にあたる皆さまへ

観光客緊急避難広場【天龍寺／時雨殿】への案内・誘導

大規模災害
発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に観光客緊急避難広場 天龍寺／時雨殿への案内・誘導

- ⇒ 誘導係用のゼッケンを着用します。
- ⇒ 案内パンフレットを用意し、配布します。
- ⇒ 特に注意が必要な地点では、適宜通りなどに立って誘導します。

声かけ例 「電車が止まり駅が混雑しています。」
「Station is panic!」
「天龍寺／時雨殿に避難してください。」
「Go to Tenryuji Temple/Shigureden」



案内パンフレットは
[]にあります。

■基本案内ルート図



JR嵯峨嵐山駅前周辺地区の避難誘導にあたる皆さまへ

観光客緊急避難広場【トロッコ嵯峨駅駅舎・駅前広場】への案内・誘導

大規模災害発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に観光客緊急避難広場 トロッコ嵯峨駅駅舎・駅前広場への案内・誘導

- ⇒ 誘導係用のゼッケンを着用します。
- ⇒ 案内パンフレットを用意し、配布します。
- ⇒ 特に注意が必要な地点では、適宜通りなどに立って誘導します。

声かけ例 「トロッコ嵯峨駅駅舎・駅前広場に避難してください。」
「Go to Torokko-Saga Station Place」



案内パンフレットは
ここにあります。

■基本案内ルート図



嵐電嵐山駅前周辺地区の避難誘導にあたる皆さまへ

観光客緊急避難広場【レストラン嵐山／京都市嵐山観光駐車場】
への案内・誘導

大規模災害
発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に観光客緊急避難広場 レストラン嵐山／京都市嵐山
観光駐車場 への案内・誘導

- ⇒ 誘導係用のゼッケンを着用します。
- ⇒ 案内パンフレットを用意し、配布します。
- ⇒ 特に注意が必要な地点では、適宜通りなどに立って誘導します。

声かけ例 「電車が止まり駅が混雑しています。」
「Station is panic!」
「レストラン嵐山／京都市嵐山観光駐車場に避難してください。」
「Go to Restaurant Arashiyama/Arashiyama Parking」



■基本案内ルート図



案内パンフレットは
[]にあります。



二尊院・常寂光寺周辺地区で観光客へ対応される皆さまへ

観光客緊急避難広場【二尊院／常寂光寺】での対応 案内・誘導

大規模災害発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に、安全を確保するため、観光客緊急避難広場である 二尊院／常寂光寺にとどまってもらうよう案内・誘導

⇒ 安全確保のため、観光客に寺院内にとどまってもらうように呼びかけます。

⇒ 案内パンフレットを用意し、配布するなど、付近の観光客にも案内します。

⇒ 「緊急避難広場」の看板を掲出します。

声かけ例 「電車が止まり駅が混雑しています。」
「Station is panic!」
「二尊院／常寂光寺にとどまってください。」
「Stay at Nison-in Temple/Jojakkoji Temple」



案内パンフレットは
[]にあります。

清涼寺周辺地区で観光客へ対応される皆さまへ

観光客緊急避難広場【清涼寺】での対応、案内・誘導

大規模災害発生

①緊急地震速報などにより身の安全を確保・呼びかけ



声かけ例 「姿勢を低く!」「頭・体を守って!」「揺れが収まるまでじっとして!」
「Drop!」「Cover!」「Hold on!」

②観光客に、安全を確保するため、観光客緊急避難広場である 清涼寺にとどまってもらうよう案内・誘導

⇒ 安全確保のため、観光客に寺院内にとどまってもらうように呼びかけます。

⇒ 案内パンフレットを用意し、配布するなど、付近の観光客にも案内します。

⇒ 「緊急避難広場」の看板を掲出します。

声かけ例 「電車が止まり駅が混雑しています。」
「Station is panic!」
「清涼寺にとどまってください。」
「Stay at Seiryōji Temple」



案内パンフレットは
[]にあります。

③観光客一時滞在施設の安全点検チェック項目

建物周囲、全体	①周辺の建物、擁壁、塀及び地盤等に危険はないかどうか。（周辺の建物が倒れてきそう。地盤が沈下しそう。など）
	②建物の形が大きく変わっていないかどうか。（建物の一部が崩れている。階がつぶれている。など）
	③建物が傾いたり、建物が沈んでいないかどうか。
基礎、構造体	①【鉄骨造】鉄骨の骨組みが壊れていたり、大きな変化がないかどうか。（柱の一番下、柱と梁の接合部など）
	②【鉄筋コンクリート造】柱、梁が壊れていたり、大きなひび割れ（概ね2mm以上）がないかどうか。
	③【木造】壁に大きなひび割れや、亀裂などがないかどうか。
	④【共通】建物の基礎の一部が崩れていたり、基礎に大きなひび割れがないかどうか。
	⑤【共通】基礎と基礎の上の建物にずれがないかどうか。

※その他、下記部位が、地震により落下・転倒している箇所は、使用を避けます。

- ア) 屋根の材料（瓦など）
イ) 窓枠、窓ガラス
ウ) 壁（外壁の一部や室内の壁、ブロック塀など）
エ) 看板や機械類（屋外機など）
オ) 天井、照明器具
カ) 屋外階段
キ) 屋外、屋上等に設置してある倉庫など
ク) その他（棚など）

2 様式集

【様式①】観光客一時滞在施設での滞在者名簿

[illegible]

【様式②】観光客緊急避難広場及び観光客一時滞在施設開設状況一覧表

観光客緊急避難広場	開設状況	特別支援		
		外国語支援	手話等支援	応急手当
例) ○○○○○○○○	○	可	否	可
観光客一時滞在施設	開設状況	特別支援		
		外国語支援	手話等支援	応急手当
例) ○○○○○○○○	○	可	可	可

【様式③】トイレ利用ルール（掲示用）

《トイレ利用ルール》

(英 語)
(中国語)
(韓国語)

○洋式トイレは、高齢者、障がいのある人を優先にします。

(英 語)
(中国語)
(韓国語)

○断水時は、ポリ袋に新聞紙を入れ、便器にかぶせて使用します。汚物が入ったらポリ袋ごと捨てます。

(英 語)
(中国語)
(韓国語)

○断水している間は、使用したトイレットペーパー（不足時は新聞紙など）をゴミ袋（できれば黒色）や段ボールなどに捨てるようにします。

(英 語)
(中国語)
(韓国語)

3 Q & A

Q1	京都市内の被害が大きい場合でも、本計画に基づいて対応するのか。	○まず、自分自身や家族、自宅の無事が前提となります。そのうえで、緊急避難広場や一時滞在施設に甚大な被害が生じていない場合には、この計画に基づき対応してください。
Q2	観光客緊急避難広場や観光客一時滞在施設に被害が生じ、受入れが困難な場合はどうすれば良いか。	○発災直後、施設の安全確認を行い、受入れが可能な場合にのみ受け入れてください。 ○施設の倒壊の危険がある場合等受入れが困難な場合には受入れの要請はしません。
Q3	直接、観光客一時滞在施設に来る観光客は、どのように対応すれば良いか。	○一旦緊急避難広場を案内してください。
Q4	外国人への対応はどうすれば良いか。	○4か国語対応の災害時帰宅困難ガイドマップを配布してもらうことにより対応をお願いします。 ○これ以外に対応が必要な場合には、周りに外国語が話せる人を探し、協力を求めてください。
Q5	停電時にはどのように対応すれば良いか。	○日ごろから、自家発電や懐中電灯等の備蓄を進めていただきたいですが、これがない場合には、慌てず停電の復旧を待って行動してください。
Q6	京都市からの情報が届かない場合、どのように進めていけば良いか。	○当該地域の最寄りの避難所において情報収集等に努めてください。 ○最寄りの避難所には防災行政無線を配備し、京都市災害対策本部から災害対応情報を伝達することとしています。
Q7	京都市からの情報はどのような手段で入手することができるか。	○緊急避難広場の施設管理者などへの架電による情報提供、京都市防災ポータルサイト、フェイスブックや、ツイッターなどのインターネットを用いた情報のほか、最寄りの避難所における災害対応情報を入手してください。
Q8	観光客緊急避難広場や観光客一時滞在施設は、いつまで設置していれば良いか。	○観光客緊急避難広場については、概ね3時間から12時間程度を想定しています。 ○観光客一時滞在施設については、公共交通機関の運行が再開されるまでの間（最長約3日間程度）の受入れをお願いします。 ○ただし、この帰宅困難者の計画は、3日間程度を想定しており、それを超えても公共交通機関が復旧しない場合は、公共交通機関を利用できる地域までの広域輸送を検討するか、別途の避難施設を検討することとなります。 ○別途の避難施設を検討する場合においては、帰宅困難者ではなく、地域住民等、他の被災者と同様に扱うこととなります。
Q9	想定期間以上の備蓄品（食糧等）が必要になった場合、どのように対応すれば良いか。	○各施設で提供できるものがあつた場合にはそれを提供してください。 ○提供できるものがない場合には、当該地区の区役所（区災害対策本部）へ連絡してください。
Q10	支援において生じた費用等については、対応してもらえるか。	○災害救助法の適用を受けた場合は、京都市が支弁させていただきますので、京都市に求償してください。 ○災害救助法については、東日本大震災時、東京都において帰宅困難者の支援に関し、同法が適用されています。
Q11	この計画を各商店や旅館の従業員、また観光客に知らせることが重要だが、京都市としてどのように取り組むのか。	○観光事業者や観光関連団体に対し、本計画や避難先等を事前に普及啓発することで、京都を訪れる旅行者にも情報が行き渡るようにします。
Q12	事前の訓練実施については、どのように進めれば良いか。	○この計画や京都市が実施する訓練等を参考に、各施設や商店街等において避難誘導訓練等を実施してください。



嵯峨・嵐山地域 帰宅困難観光客避難誘導計画

平成25年12月発行 京都市印刷物第253125号
京都市 行財政局防災危機管理室 TEL 075-212-6792
産業観光局観光MICE推進室 TEL 075-222-4130

